

四国遍路世界遺産登録推進計画 ～HENRO DX～

香川県立高松商業高等学校 2年 久保 匠 平戸 晴也 海野 遙人

研究目的

四国遍路は四国に散在するかつて空海が修行を行ったとされる八十八箇所の霊場を何十日もかけて巡るという歴史的な価値を持つものである。その歴史的な価値を後世に継承していくために、現在四国遍路を世界遺産に登録する活動が四国遍路世界遺産登録推進協議会を中心に行われている。そして世界遺産暫定一覧表で「カテゴリーⅠa」に分類された。しかし、次のカテゴリーに進むためには文化庁から示された右記の3つの課題⁽¹⁾を解決する必要がある。そこで我々は香川県政策部文化芸術局文化振興課を訪れ、どの課題の解決に力を入れるべきか質問した。そして高校生が力を入れるべき課題は、行政の活動が含まれていない^③だという意見をいただいたため、我々はお遍路のDX化を目指して四国遍路のマップアプリの制作を提案した。本研究では、アプリによる四国遍路の地域コミュニティの拡大を目指す。

文化庁からの課題

- ①資産の保護措置の充実
- ②顕著な普遍的価値の証明
- ③地域コミュニティの積極的な参画

研究内容

【四国遍路マップの概要】

- 四国の全体マップの表示を OpenStreetMap⁽²⁾と Leaflet⁽³⁾を使って作成
- 霊場ごとの座標を保存してマップに霊場の位置を表示
- 各霊場のボタンを押すと前後の霊場からその霊場までのルートを表示する機能を OpenStreetMap を用いて作成



【アプリの各機能の概要】

- PHP と MySQL を使ってログイン機能⁽⁴⁾を作成
- アカウントごとに巡った霊場の達成度が表示される機能を作成
- 世界遺産登録への活動や地域のボランティア活動を紹介するページの作成
- おみくじや絵馬などの若年層向けの機能を作成



考 察

我々が香川県政策部文化芸術局文化振興課の方々からいただいた意見で特に重要視したのは、若年層と外国人観光客の受入態勢を整えることだ。地域コミュニティの拡大には、これからの時代を担っていく若年層と四国遍路の普及活動に大きな影響をもたらす外国人観光客の存在は不可欠であり、それらの需要に適した機能を実装する必要性を感じた。現段階でも若年層でも使用していて楽しいと感じられる要素となる、おみくじや絵馬などの機能や外国人観光客が巡礼の際に必要とする、ルート検索機能をメイン機能として実装しているがアプリを普及するにはまだまだ課題も多い。特に、外国人観光客に向けたアプリ全体の言語の多様化やオフライン環境の適応、またルートの表示に時間がかかってしまうという問題の改善は必要不可欠である。



県庁を訪問して話を伺っている様子

今後の展望

- 完成した機能を文化振興課の方々に見てもらい、意見をもらう
- おみくじや絵馬の画面のUIや細かい機能の改善を行う
- アカウント機能のセキュリティを向上させる
- 表示されるルートにバリエーションを持たせる

参考サイト

- (1) 四国遍路世界遺産登録推進協議会 パンフレット
<https://88sekaisan.org/pdf/pamphlet.pdf>
- (2) Open Street Map
<https://www.openstreetmap.org/#map=6/36.76/134.09>
- (3) Leaflet
<https://leafletjs.com/>
- (4) PHP+MySQLで簡易ログインシステムを作る
<https://qiita.com/Naughty1029/items/08b0ddeb805442916239>